

新型コロナウイルス対策厳守事項(2022年11月1日より)

CROSS STREETでイベントを実施される方へ

当館でイベントを実施される場合は、当館でも下記の対策を講じますが、主催者様も下記の主催者様の実施事項を厳守のほどお願いいたします。

当館での、新型コロナウイルスの対策

1. 30分に1回換気時間を設けてください。(観客が25名以下の場合10分・観客が26名以上でステージ上3名以下の場合15分・観客が26名以上でステージ上4～6名の場合20分)
上記換気時間が取れるよう演奏間隔の調整などスケジュールにご配慮ください。
二酸化炭素濃度計を設置してあります。
当館での濃度状況は3ページ目をご覧ください。
2. 従来ある空気清浄機のほか加湿器3機を加え、加湿器にはグレープフルーツの種子から抽出した天然除菌液を入れ噴霧しております。
3. 貸し出し開始前に、椅子・会場全体に除菌スプレーで除菌し、
トイレ内やトイレドアノブも除菌スプレーを噴霧し除菌しております。
トイレ洗面所のスイッチはONのまま常時点灯にしております。
4. 手のアルコール消毒液も入り口・控え室に設置しました。
5. 受付用にアクリルパーテーションを設けております。
6. ソーシャルディスタンスを考え座席は1席とばして間を空け
客席側定員(お客様およびスタッフ合計人数)を当館オペレーター1人を除き
40名とし、椅子の位置は固定にします。
お客様は必ず着席いただき、設置してある椅子の位置の移動は認めません。
但し状況に応じ椅子の間隔を空け入場数を削減する場合があります。
7. ステージ上の定員は、
ドラムがない場合、フロント3人+後側2人の最大5人とし、
ドラムがある場合は、上記人数+ドラムの最大6人とします。

主催者（ご利用者）様に厳守していただくこと

1. お客様の連絡先を記録してください。連絡先が分からない方の入場は禁じます。（利用終了時にお客様および出演者の代表者の連絡先リストを提出してください。（このリストは新型コロナ感染者が当館から出た場合以外には使用しません。）
2. 当面の間、以下の行為を禁止します。
コール&レスポンス。お客様からの掛け声・アンコールコール。
お客様を立ち上がらせたりあおったりすること。
出演者やお客様がタオル類を振り回すこと。
お客様は入室後は入退室やトイレの使用などの最低限の移動に留めてください。（撮影を行う際は一定の場所から動かないこと）
3. 受付や物販コーナーは、できる限り外のデッキ上で行ってください。
当面、デッキの使用料は徴収いたしません。
室内に受付や物販コーナーを設置した場合、その分客席が減ります。
4. 館内での飲食は、缶・ペットボトル飲料のみの配布・販売にとどめてください。
館内での食事・食べ物の配布・販売は禁止します。
お客様が入場されてからの館内での缶・ペットボトル飲料以外での飲食は禁止いたします。
無期限で館内での飲酒の禁止、また飲酒されている方の入場は禁止にします。
5. マスクをされていない方は入場させないでください。
37.5度以上熱のある方、咳きやくしゃみの続く方、具合の悪い方
かなり酔っておられる方は入場させないでください。

上記厳守事項は、2022年11月1日からのものとなります。

協同組合伊勢佐木町商店街・施設街管理運営委員会

委員長 林秀樹

CROSS STREET管理運営請負者

カメラのウエダ 植田淳

当館での二酸化炭素濃度状況

開場したときの当館の二酸化炭素濃度・・・約450ppm

演者・スタッフ・お客様が25名程度のとき。

約25分程で1,000ppmを超える。

30分での演奏終了時・・・1,100～1,200ppmに達している。

60分間演奏を続けた場合・・・2,600～2,800ppmに達している。

30分の演奏後換気した場合

5分の換気・・・650ppm程度まで下がる

10分の換気・・・450ppm程度に下がる

*5分の換気で演奏を始めた場合、20分程で1,000ppmを超える。

したがって、10分間の換気時間が望ましい。

60分の演奏後換気した場合

15分の換気・・・500ppm程度に下がる。

演者・スタッフ・お客様が40名程度のとき。

約18分程で1,000ppmを超える。

30分での演奏終了時・・・1,400～1,600ppmに達している。

60分間演奏を続けた場合・・・データなし。

30分の演奏後換気した場合

5分の換気・・・800ppm程度まで下がる

10分の換気・・・650ppm程度に下がる

15分の換気・・・480ppm程度に下がる

したがって、15分間の換気時間が望ましい。

室内の二酸化炭素濃度（CO₂濃度）の数値ごとに、換気方法やタイミングの基準

- 1000ppm以下……空気がクリーンな状態。このCO₂濃度を基準に保つようにする。
- 1000～1500ppm……許容範囲の数値。時々、室内の一部の窓を開けて換気する程度でOK。
- 1500ppm～2500ppm……悪い数値。眠気や倦怠感を感じる可能性も30分に10分ほど窓を全開にして換気する。CO₂濃度が下がるまでは部屋の使用を控える。
- 2500ppm以上……非常に悪い数値。濃度の数値が下がるまで、常時窓を全開にして換気を行い、部屋の使用を控える。